

経済安全保障政策

2026年6月15日

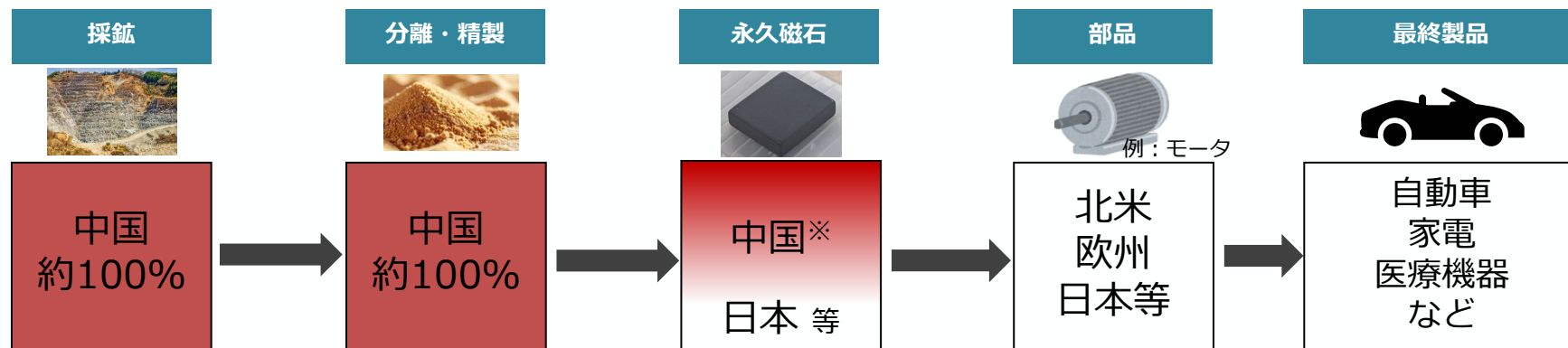
貿易経済安全保障局総務課

歴史を振り返る（例：2010年のレアアース・ショック）

2010年頃の 世界シェア（イメージ）

出典：

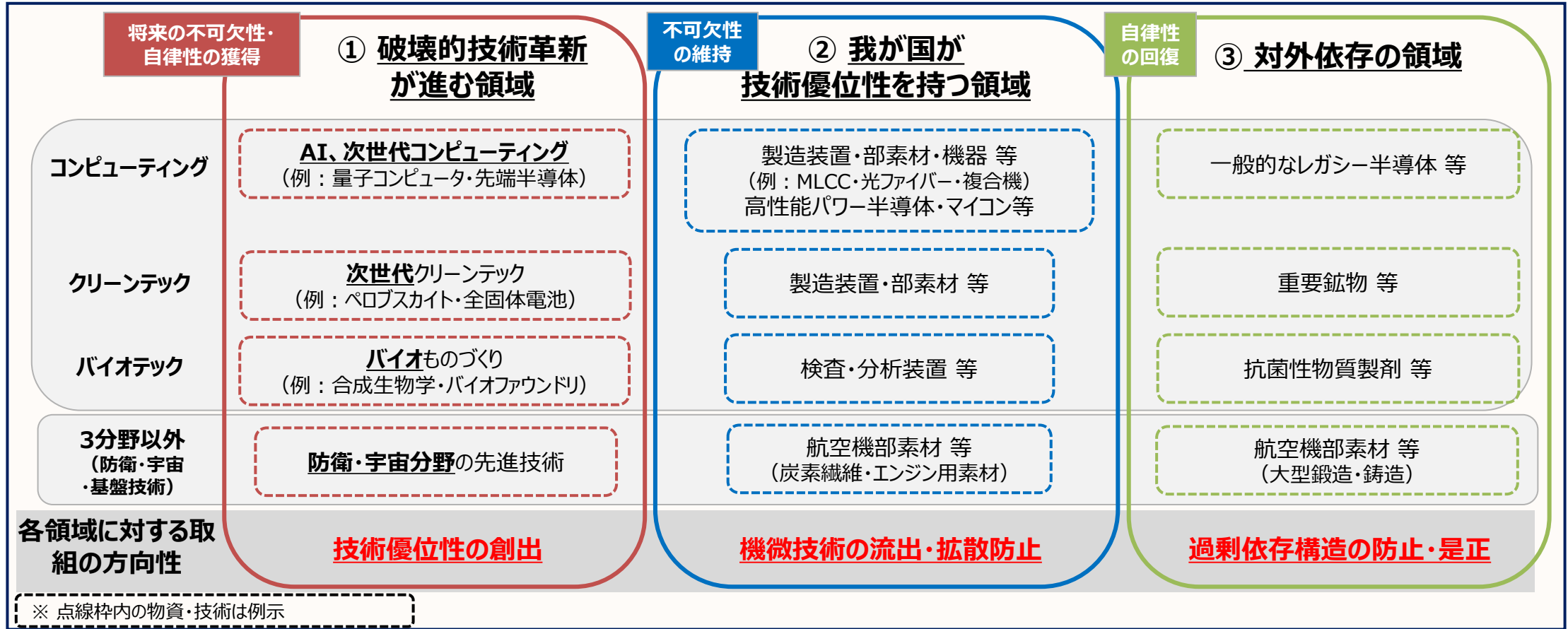
- 採鉱 = USGS, *Rare Earths Statistics and Information*, 2010
- 分離・精製 = Congressional Research Service, *Rare Earth Elements: The Global Supply Chain*, 2013



※IEA 『With new export controls on critical minerals, supply concentration risks become reality』によると、2005年頃に中国は焼結永久磁石の世界生産の約50%を占めていたとされている。

	上流（採鉱、分離・精製）	中下流（永久磁石、部品）
当時の対応	<ul style="list-style-type: none"> レアアースについて、供給源多角化のための鉱山開発や製錬への出資を実施。 →供給源多角化により中国依存度が低減。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助金により、「省レアアース化」や「リサイクル」を推進。 →省レアアース等が進展。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 他方、レアアース途絶が解消した後に採算が悪化した案件も。 	<ul style="list-style-type: none"> 生産に必要な十分な量のレアアースを確保できない状況を踏まえ、その川下の工程の海外移転が進んだ可能性。

経済安全保障政策のアプローチ



Promotion (技術開発支援、投資支援等)
Protection (輸出管理、投資管理、技術管理等)

Promotion (代替調達先開発支援等)
Protection (需要サイドの対応等)

Partnership (官民連携、国際連携)

経済安全保障に係る同志国との共同ステートメント、ニュースリリース

<p>2026/6/3~6/4 OECD閣僚理事会 議長声明 (井野副大臣)</p>	<p>15. より緊密な協力により、<u>リスク評価、緩和措置及び必要に応じて協調的な対応を通じて、技術の流出に関連するリスクへの対処が可能となる。</u> 19. 非市場的政策及び市場歪曲的慣行は、多くのエコノミーのいくつかのセクターにおける過剰生産と供給の過度な集中を助長してきた。公平な競争条件を回復するために、これらの課題への対処が引き続き重要である。特に、<u>重要鉱物について、サプライチェーンの途絶を招くおそれがある恣意的な輸出規制を通じたものを含む経済的威圧は、経済安全保障及び経済的強靭性を損なうものであり、引き続き深刻な懸念となっている。</u></p>
<p>2026/5/7 日EUハイレベル経済対話 (赤澤大臣)</p>	<p>四者は、<u>第三国によって使用されるあらゆる形態の経済的威圧に対する懸念を表明</u>した。特に、四者は<u>近年の不当な輸出規制の拡大に対して遺憾の意を表明</u>するとともに、<u>戦略的サプライチェーン、特に重要鉱物のサプライチェーンを混乱させないように、輸出管理措置が厳密に定義され、差別的でなく、国際法及び国際慣行に従っていることを確保することの重要性を改めて強調</u>した。また、四者は、有害な過剰生産及び市場歪曲をもたらす非市場的政策・慣行の使用に対する深刻な懸念を表明した。 四者は、<u>重要・新興技術の促進及び保護に係る、より緊密な関与の必要性を強調</u>しつつ、格上げされた「経済安全保障及び関連する新たな貿易・経済問題に関する作業部会」の下で、日・EU間の協力を強化することで一致した。この協力は、<u>技術移転のリスク評価、リスク軽減措置、協調的な対応、民間セクター及び技術保有者との体系的な連携における共同の取組を促進</u>するものである。双方は、<u>この協力をG7及びその他の同志国においても推進することを目指す。</u></p>
<p>2026/5/6 G7貿易大臣会合 (赤澤大臣)</p>	<p>我々は、<u>過度な依存の軽減、サプライチェーンの安全性及び強靭性の向上並びに技術漏洩のリスクへの対処を目的として、重要技術を含む戦略的セクターに影響を及ぼす脆弱性を特定するための意見交換を深め続ける。</u> 我々は、特に重要鉱物について、サプライチェーンの混乱を招き、経済安全保障及び経済の強靭性を損なう恐れがある<u>恣意的な輸出制限を通じたものを含む経済的威圧に対する深刻な懸念を表明</u>する。我々は、重要な依存関係を軽減し、<u>経済的依存関係の武器化の試みや脅しが失敗に終わることを確保するため、パートナーと協力</u>する。我々は、<u>経済的威圧に対する抑止を図り、必要な場合は、行動を取る用意がある。</u></p>
<p>2026/5/4 日豪首脳会談</p>	<p>我々は、<u>あらゆる形態の経済的威圧、有害な過剰生産及び市場の歪曲につながる非市場的政策及び慣行（NMPPs）の利用並びにグローバル・サプライチェーンに重大な悪影響を及ぼし得る輸出規制、特に重要鉱物に対する輸出規制に強い懸念を表明</u>する。我々は、<u>輸出管理措置を講じるいかなる場合にも、戦略的サプライチェーン、特に重要鉱物のサプライチェーンを混乱させないように、厳密に定義され、差別的でなく、国際法及び国際慣行に従っていることを確保することの重要性を改めて強調</u>する。</p>
<p>2026/4/1 日仏首脳会談</p>	<p>両首脳は、あらゆる形態の経済的威圧、過剰生産及び市場の歪曲をもたらす非市場的政策及び慣行の利用、並びに<u>グローバル・サプライチェーンに重大な悪影響を及ぼし得る、特に重要鉱物及びその派生品に対する輸出規制に深刻な懸念を表明</u>した。両首脳は、<u>輸出管理措置を講じるいかなる場合にも、厳密に定義され、差別的でなく、国際法及び国際慣行に従っていることを確保することの重要性を改めて強調</u>した。</p>
<p>2026/3/19 日米首脳会談</p>	<p>両首脳は、現下の状況で重要性が増しているエネルギーの安定供給の確保、重要鉱物、AIを含む先端技術分野など、経済安全保障分野での日米協力を一層強化することで一致しました。… 両首脳は、<u>輸出規制を含め、重要鉱物を始めとする重要物資の安定供給を脅かすようなあらゆる措置に反対することを確認</u>した上で、サプライチェーン強靭化に共に取り組み、日米両国の力強い発展につなげていくことで一致しました。</p>
<p>2026/3/6 日加首脳会談</p>	<p>両首脳は、あらゆる形態の経済的威圧、有害な過剰生産及び市場の歪曲につながる非市場的政策・慣行、また、グローバル・サプライチェーンに重大な悪影響をもたらす得る、特に<u>重要鉱物に対する輸出規制に対し、深刻な懸念を表明</u>する。両首脳は、<u>輸出管理措置を講じるいかなる場合にも、戦略的サプライチェーン、特に重要鉱物のサプライチェーンを混乱させないように、厳密に定義され、差別的でなく、国際法及び国際慣行に従っていることを確保することの重要性を改めて強調</u>する。</p>

(資料) 各省プレスリリースより作成